

呉曉鈴旧蔵中国古典小説関係書目

大 塚 秀 高

呉曉鈴氏（1914-1995）の戯曲関係旧蔵書は、その後首都図書館に寄贈され、『綏中呉氏蔵抄本稿本戯曲叢刊』（学苑出版社、2004年3月）として影印出版されている。その経緯ならびに全貌については、その呉書蔭による序、「呉曉鈴先生和『双楫書屋』蔵曲—《綏中呉氏蔵抄本稿本戯曲叢刊》序」に詳しい。呉氏の小説関係の蔵書は戯曲関係のそれに比べ多くはないが、注目すべきものが少なくないし、そもそも筆者がそうであったように、その存在自体知られているとはいえない。加えて、諸般の状況に鑑みれば、馬氏書の場合もそうだが、それらの一部にせよ今後影印刊行されるとは思えない。そこで、この機を借り、いきなり押しかけたうえ十日も居座った見ず知らずの者に、嫌な顔ひとつせず貴重な蔵書を見せてくださった呉曉鈴氏への感謝を込め、その際に作成した不完全なメモ（順不同なうえ必要な書誌事項がすべて揃っているわけではない）の一部を公開させていただくことにした。

なお当該書の現況であるが、諸般勘案するに、首都図書館か中国社会科学院文学研究所のいずれかに蔵されているものとおぼしい。とはいえ、北京図書館に継承された鄭振鐸旧蔵書にしても、内部出版の『西諦書目』にさえ著録されないものがあるなら、下記の小説の多くも目録に採られることはあるまい。以下に掲げる呉氏の旧蔵小説の目録（というには程遠いものである）が小説研究に多少でも寄与すれことができるなら幸いこれに過

ぎることはない。

ちなみに、排列については、まず筆者の『増補中国通俗小説書目』著録のものをその順に掲げ、続いて、意図してこれに著録しなかった明の四大小説及び『紅樓夢』とその関連書、清末民初の小説を掲げ、最後に、拙目、孫楷第『中国通俗小説書目』1982年版（孫目）とも未著録の文言小説、善書、その他を挙げることにした。なお、注記（cf.）の後の、集成は『古本小説集成』、叢刊は『古本小説叢刊』にそれが影印して収められていることを、書目は一粟の『紅樓夢書目』、観書記二は筆者の「北京観書記 その二 双楮書屋観書記」に当該書に関連する記載があることを示している。通し番号後の五桁の数字は拙目における当該書の番号、S番号は孫目に著録されている頁数である。

1. 12006 拍案驚奇十二卷二十四篇 12×25 無図 12冊
2. 12014 石點頭十四卷十四篇 天然癡叟著 同人堂 11×22 無図
3. 12019 欽喜冤家（貪歡報）六卷二十四回 西湖漁隱主人編 文秀堂
嘉慶戊寅（23,1818）重刊 11×28 無図 1帙10冊
4. 12021 古今（今古）伝奇十四卷存一至三卷 12×28 無図 2冊
cf. 集成
5. 12023 宜春香質四集二十回 伝抄本 cf. 観書記二の十
6. 12031 豆棚閒話十二卷十二篇 聖水艾納居士原本 吳門百懶道人重訂
三德堂 乾隆乙卯（60,1795）刊 10×26 無図 1帙4冊
7. 12037 世途境八卷八回 本衙蔵板（金盛堂段宅記） 10×24 無図
cf. 狭路逢三回、自作障二回、寒徹骨三回
8. 12045 十二楼 覺世稗官 9×19 図12葉 cf. 集成
9. 12069 新編繡像風流悟一編八回 坐花散人編輯 9×24 4冊 cf. 観
書記二の八、集成

10. 13003 新刻全像海剛峯先生居官公案四卷七十一回 晋人義齋李春芳編
次 郁文堂重刊（金陵万卷楼虚舟生） 12×23 有図 4冊 cf. 配本
11. 21002 続金瓶梅十二卷六十四回 紫陽道人編 10×24 図24 葉
12. 21003 新鐫古本批評三世報隔簾花影四十八回 本衙蔵板 11×24 無
図 8冊
13. 21005 後紅樓夢三十回附二卷 逍遙子序 9×20 図60 葉
14. 21006 続紅樓夢三十卷 抱甕軒 嘉慶己未（4,1799）刊（秦子忱） 9
×20 無図 10冊
15. 21007 綺樓重夢四十八回 瑞凝堂 嘉慶乙丑（10,1805）重刊 8×20
無図 2帙12冊
16. 21008 紅樓復夢百卷百回 紅香閣小和山樵南陽氏編輯 娜嬛齋蔵板
嘉慶四（1799）序刊 9×22 図16 葉 20冊
17. 21010 紅樓円夢三十回（夢夢先生）紅薔閣蔵板 嘉慶甲戌
（19,1815）刊 8×18 無図
18. 21019 新刻春秋配四卷十六回 cf. 観書記二の一、集成
19. 21021, 21022 七才子書 天花蔵主人 本衙蔵板・翼聖堂 乾隆五
（1740）重刊 無図
（上層）天花蔵批評玉嬌梨 14×15
（下層）天花蔵批評平山冷燕 11×18
20. 21024 繡像批評麟兒報四卷十六回 □□堂蔵板 咸豐壬子（2,1852）
重刊 9×20 図4 葉 4冊
21. 21029 画図縁四卷十六回 9×25 無図 4冊
22. 21031 新編四才子二集兩交婚小伝十八回 天花蔵主人序 8×20 無
図 8冊 cf. 集成
23. 21032 双奇夢伝四卷二十回 談惜軒 9×17 無図 4冊 cf. 配本
24. 21044 情夢析四卷二十回 蕙水安陽酒民著 西山灌菊散人評 9×17

無図 2 冊

25. 21046 好逑伝四卷十八回 独處軒藏板
26. 21047 快心編伝奇十一卷三十二回 課花書屋藏板 10×22 無図
27. 21048 鳳凰池四卷十六回存八回 烟霞散人編 鼎翰楼 10×28 無図
3 冊
28. 21050 鴛鴦影四卷十八回 □□藏板 道光壬午 (2,1822) 刊 9×21
無図 4 冊
29. 21054 蝴蝶媒四卷十六冊 南岳道人編 青溪醉客評 本堂 10×28
無図 4 冊
30. 21059 錦香亭四卷十六回 古吳素菴主人編 經綸堂 10×28 無図
4 冊
31. 21069 駐春園小史六卷二十四回 吳航野客編次 水簫散人評閱 乾隆
癸卯 (48,1783) 刊 8×16 無図 4 冊
32. 21072 嶺南逸史二十八回 花溪逸士編次 裕德堂藏板 8×16 無図
8 冊
33. 21073 生花夢四卷十二回 娥川主人編次 本衙藏板 8×20
34. 21082 癡人福四卷八回 上海書局 光緒癸卯 (5,1879) 石印 12×25
図 9 葉 4 冊
35. 21085 西湖小史四卷十六回 上谷氏蓉江著 8×18 無図 4 冊
36. 21097 風月夢三十二回 邗上蒙人序 光緒丙戌 (12,1886) 刊 12×27
図 5 葉 6 冊 cf. 集成
37. 21098 品花寶鑑六十回 幻中了幻齋 戊申 (道光 28,1848) 刊 8×22
無図
38. 21099 雲鍾雁三閤太平莊全伝五十四回 一笑軒藏板 道光己酉
(29,1849) 刊 9×18 図 8 葉 cf. 集成
39. 21102 花月痕十六卷五十二回 眠鶴主人編次 棲霞居士評閱 光緒戊

- 子 (14,1888) 刊 9×21 無図 2 帙 16 冊
40. 21106 鉄花仙史二十六回 雲封山人編次 一嘯居士評点 本衙蔵板
8×17 図 12 葉
41. 21113 新刻戯中戯七回 cf. 観書記二の二、集成
42. 21124 浪史奇観四卷四十回 風月軒入玄子著 9×21 無図 4 冊
43. 21128 肉蒲団小説一名覚後禪二十回 情痴反正道人編次 10×25 無
図 3 冊 cf. 周越然旧蔵
44. 21131 東遊記 (西遊記釈喩) 二十四章 顧道民 cf. 観書記二の五
45. 21133 新鐫桃花影四卷十二回 煙水散人編次 畹香齋 10×25 無図
2 冊
46. 21140 新鐫小説恋情人六卷十二回 cf. 観書記二の九
47. 21141 杏花天四卷四回 古棠天放道人編次 本衙蔵版 10×25 4 冊
48. 21142 覚世梧桐影十二回 抄本 10×17 無図 4 冊
49. 21150 繡戈袍真本八卷四十二回 江南随園主人著 古番曾放翁校正
10×20 図 10 葉 8 冊
50. 21160 第一奇書歡喜縁十二回 抄本 cf. 観書記二の六
51. 21171 痴婆子伝二卷 芙蓉主人輯 乾隆甲申 (29,1764) 序刊 7×15
cf. 文言
52. 21173 新刻三妙伝六卷 養純子 竹軒蔵板 8×21 無図 1 冊
53. 21177 五金魚伝二卷 9×20 存下卷 1 冊 cf. 集成
54. 21706 常言道四卷十六回 落魄道人 得成堂茂板 8×20 無図 1 帙
4 冊
55. 21707 新編玉蟾記六卷五十三回 通元子黄石著 緑玉山房蔵板 道光
十九 (1839) 刊 8×20
56. 22005 新刻批評繡像後西遊記八卷四十回 天花才子点評 大文堂蔵板
13×30 図 8 葉 4 冊

57. 22026 緑野仙踪 抄本 cf. 観書記二の七
58. 22026 緑野仙踪八十回 道光十(1830)刊 9×21 図8葉 2帙20冊
59. 22027 済顛大師醉菩提全伝二十回 西湖墨浪子偶拈 10×22 図10葉 1帙6冊 cf. 朱印
60. 22038 絵図陰陽闘異説奇伝四卷十六回 上海書局 光緒甲午(20,1894)刊石印 14×28 図8葉 2冊
61. 22039 繡雲閣四卷五十八回 板存富順県下南鄧井関関外龍泉井側雷姓宅下 同治八(1869)刊 10×25 無図 2帙12冊 cf. 集成
62. 22702 第九才子書平鬼伝四卷十回 陽直樵雲山人編次 近文堂板 11×24 図半葉 2冊 cf. 集成
63. 23006 新鐫批評出像通俗演義禪真後史存五卷三十回 清溪道人編次 9×20 図20葉
64. 23008 緑牡丹六十四卷六十四回 9×18 図24葉 12冊
65. 23010 警富新書四卷四十回 嘉慶己巳(14,1809)序刊 10×22 図6葉
66. 23011 清風閣四卷三十二回 9×20 図9葉 4冊 cf. 集成
67. 23015 万年青奇才新伝十二卷十八回+四卷十九至二十三回 11×22 図2葉
68. 31012 梁公九諫 賜書樓藏鈔本 嘉慶丙寅(11,1806)士礼居 8×20
69. 32004 新刻按鑑編纂開闡衍繹通俗志伝六卷八十回 五岳山人周游仰止 文林堂藏板 道光元(1821)重刊 9×18 図23葉 6冊
70. 32014 孫龐演義四卷二十回 京都文和堂藏板 10×25 無図 1帙8冊
71. 32017 新編批評繡像後七国楽田演義四卷十八回 京都文和堂藏板 12×28 無図 cf. 68と同帙

72. 32017 後七国楽田演義六卷十八回 古吳遜世老人演輯 古吳文裕堂
11×28 無図 4冊
73. 32017 後七国楽田演義四卷二十回 古吳煙水散人演輯 嘯花軒藏板□
邑立会堂発兌 10×23 無図 4冊
74. 32030 新鍤重訂出像註釈通俗演義東西晋志伝題評西晋四卷東晋八卷欽
西晋卷一 秣陵陳氏尺蠖齋評釈 繡谷周氏大業堂校梓 12×24
cf. 宝山顧炳鑫旧蔵、有下記墨書。
去歲春末自蘇州得此書。書肆以清覆明本售云，余亦以覆本購。書欽
西晋第一卷及序文。後自上海得一姑蘇版全書。前附図双頁六幅。図多
此本同而差。今細対両書，発現此本乃明原刻本，而蘇版実此本覆書。
全書附双頁挿図近九十幅，其中不少佳作。東晋卷一第一図有“王少淮
写（像）”。王係明代専為演義挿図為家，絵図雖不称大家，然頗有風格，
属金陵派。一九六三年十一月八日晚記 顧炳鑫
75. 32036 新鐫全像通俗演義隋煬艷史八卷四十回欽十五至十七回 齊東野
人編演 9×20 図73葉
76. 32041 四雪草堂重訂隋唐演義二十卷百回 劍嘯閣齊東野人等原本 道
光庚戌年（30,1850）刊 11×23 図50葉 20冊
77. 32050 殘唐五代史演義伝十二卷六十回 貫中羅本編輯 卓吾李贄批評
京都老二酉堂 光緒丁亥（13,1887）刊 12×28 図6葉
78. 32051 南北宋志伝南宋十卷五十回北宋十卷五十回 研石山樵訂正 織
里畸人校閲 集文堂 10×23 無図 1帙8冊
79. 32071 続英烈伝五卷三十四回 空谷老人編次 集古齋 9×21 無図
1帙5冊
80. 32076 王陽明出身靖乱録 嵩山堂蔵板 cf. 明治の和刻本
81. 32084 崢霄館評定出像通俗演義魏忠賢小説斥奸書四十回存第一至十二、
二十三至三十四回 吳越草莽臣撰 抄本 10×21 無図 4冊 cf. 瞿

宣穎兌之旧蔵

82. 32087 壽杙萃編十二編二十四回 鉛印 10×32 無図
83. 32092 新世鴻勳（鉄冠図）四卷二十二回 善成堂蔵板 10×24 無図
2 冊
84. 32092 順治過江四卷二十二回 蓬蒿子 書業徳記 辛酉重刊 11×24
図5 葉 1 帙4 冊
85. 32093 樵史通俗演義八卷四十回 排印（北大排印海内孤本） 12×32
1 帙4 冊
鄞県馬隅卿廉蔵原本今帰大学，日寇侵入，印本散失。戦後理得兩部，
此其一也。中華民國卅八年五月廿八日 建功題記
…據此可知樵史演義，自有其珍貴處。清代列為禁書，必有其干犯之点。
同時於北宮故宮博物院図書部，亦蔵有清文訳本。可見當時对此書之重視。
紹良久聞此書，未曾得觀。津門寄跡，得仮長樂鄭毅生先生蔵本一
讀，因就所見識而帰之。 至徳周紹良識於津南西深精神
86. 32097 台湾外紀三十卷（江日昇） 求無不獲齋 癸巳（康熙 52,1713）
刊 10×23 無図 cf. 集成
87. 41002 夢斬涇河龍 戴望舒手抄本 6×17
88. 新刻按鑑演義三国英雄志伝二十卷二百四十段 嘉慶七（1802）刊 16
×41 図6 葉 10 冊
89. 三国志像 図120 葉 cf. 明版？
90. 出像評点忠義水滸全書不分卷百二十回 施耐庵集撰 旧抄本 12×22
無図 2 帙24 冊
91. 第五才子書施耐庵水滸伝七十回七十五卷 貫華堂 8×19 無図 4
帙32 冊
92. 明嘉靖間武定侯郭勛刊《水滸全伝》第五十回残葉 某葉
按：北京図書館蔵第四十七回至四十九回三回又鄭振鐸先生旧蔵第五十

一回至五十五回五回

93. 水滸伝注略 鶴市迂亭程穆衡 抄本 1 帙 2 冊

穆衡字惟悖号迂亭，鎮詳人，乾隆二年進士，官山西榆社県，卒年九十三。氏有吳梅村編年詩箋、安東耆旧伝、據梧軒詩集六卷文集八卷及燕程日記。其詩文集及日記，謝剛主先生有之。暇当借出一檢也。 曉鈴 甲辰（1964）歳暮

此三弟宝鈴婦趙汝英尊人錫蕃姻伯為余録副者。原書係稿本，蔵鄭西諦師許。師帰道山後，入北京図書館。聞諸趙蜚雲云：館中又得刊本。因循迄未一読。趙翁于丙午元月初九日，即公元一九六六年元月廿九日以心臟衰歇逝于京華。余自贛還都，為二豎所困，未能一問老人疾。于大殮日始臨棺一哭，今檢斯編，如聞警咳，不禁漣洏掩卷矣。 曉鈴 丙午（1966）早春

94. 水滸伝 鄭振鐸の北大での講義ノート

95. 新説西遊記百回 晋西河張書紳注 書業□ 乾隆己巳（14,1749）刊
10×24 無図 2 帙 24 冊

96. 西遊真詮百回 山陰悟一子詮解 金閭書業堂 乾隆庚子（45,1780）
刊 11×24 図 20 葉 20 冊

97. 金瓶梅百回 乾隆間精鈔大字本 9×20 無図 4 帙 20 冊 cf. 節本、
傅天然樂趣齋之印

98. 紅樓夢百二十回 旧鈔本 12×20 24 冊 cf. 東莞容庚旧蔵、書目

99. 紅樓夢存第五十一至七十、八十一至百回四十回 旧鈔本 存 4 冊
cf. 銘九珍藏、書目

100. 紅樓夢八十回 戩穀鈔本 4 帙 20 冊 cf. 有墨書、集成、書目

101. 紅樓夢四十回 舒元煒序鈔本 8×24 1 帙 8 冊 cf. 傅天然樂趣齋之
印 cf. 叢刊 1

102. 紅樓夢百二十回 程偉元第一次木活字本（程甲本）萃文書屋蔵板 10

- ×24 4帙24冊 cf.書目
103. 紅樓夢百二十回 藤花榭原板 耘香閣重梓 11×24 図15葉 3帙
24冊 cf.書目
104. 紅樓夢評贊 文□德記 9×20 1帙6冊
105. 紅樓夢紀略・紅樓夢広義二卷 青山山農 10×24
106. S85 平金川四卷三十二回 小山居士編次 富文書局石印 光緒己亥
(25,1899) 刊 13×23 図9葉
107. S86 揚州夢不分卷十六回 国学維持社 排印 民国四年 12×30 無
図
108. S88 遼天鶴唳記四編十六回 氣凌霄漢者(田中慶太郎)評話 石印
甲辰(1904)刊 15×32 図6葉 1帙4冊
109. S171 野叟曝言二十卷百五十四回 光緒八序 石印 22×35 図9葉
2帙20冊
110. S172 兒女英雄伝評話四十回 燕北閒人原本 吾了翁重訂 京都隆福
寺路南聚珍堂活字本 光緒四(1878)年 10×22 無図 4帙20冊
111. S206 金蓮仙史四卷二十四回 台南青陽道人潘昶明広自序刊 上海邑
廟後翼化堂藏板 光緒三十四戊申(1908)刊 9×22行 無図 4冊
112. S221 忠烈俠義伝百二十回 抄本 4帙40冊 cf.観書記二の三、集成
113. S221 忠烈俠義伝 旧抄本 10×24 12冊 cf.観書記二の四
114. S221 忠烈俠義伝 石玉崑述 京都隆福寺路南聚珍堂 光緒八(1882)
年刊 4帙26冊

亡友葉德均兄疑入迷道人実為伝訳石玉崑説唱体忠烈俠義伝為散体三
俠五義之人，其人即文琳。是蓋捫序文乙亥司椎淮安之語而疑似也。案
光緒十年刊吳昆田纂淮安府志卷十二職官表四国朝漕運記管理鈔関：文
琳，光緒元年任，与序文合。又民国十年辛酉段朝端纂統纂山陽県志卷
五職官淮安鈔関云：文琳，内務府郎中，光緒元年任。又榮晋齋刊乙亥

春大清緡紳全書江蘇淮安府兩淮監院衙門：欽命督理淮宿等関稅務加三級一文琳，滿洲正紅旗人。如再查光緒三十二年元成撰徵麟補之統纂淮安関統志，想更有得也。三十年来因循未果，雨窓無聊。志之備忘。悲矣。曉鈴 1976.7.21 丙辰（1976）六月廿五

115. S221 小五義百二十四回 琉璃廠車門路北文光樓 光緒庚寅（16,1890）
刊 図 114 葉

116. S221 続小五義百二十四回 琉璃廠東門外路北文光樓 光緒十六（1890）年刊 9×22 図存 23 葉 4 帙 24 冊

117. (S231) 増註絵図官場現形記六編卷六十一至七十六 14×32 図 8 葉
1 帙 4 冊

118. (S231) 増註絵図官場現形記七編卷七十七至九十二 庚戌（1910）刊
14×32 図 8 葉 1 帙 4 冊

*「官場現形記七編」と題する 4 冊 1 帙の石印小本で、帙題、題箋とも最新増註絵図官場現形記とあり、封面には最新増註絵「図官場現形」記 庚戌春仲 月湖漁隱題とあり、裏に七編十六巻とあります。七編目録には巻 77 から巻 92 までがあがっており、図は各冊あて 2 葉、4 冊で全 8 葉 16 図附されています。本文題はなく毎半葉 14 行毎行 32 字からなり、本文には夾注があります。ちなみに六編もこれと同じで、角書きが帙題で増註絵図、題箋で絵図増註、封面で増註絵図である点が違うくらいです。

119. S232 二十年目睹之怪現狀八卷百八回 新小説書社 石印 丙辰（1916）刊 18×38 図 15 葉

120. 寫春園叢刊第一輯三種 鉛印

控鶴監秘記 唐張珀撰 13×25

- 21171 痴婆子伝 芙蓉主人輯 共 1 冊

右二則依袁枚子不語卷二十四所録。原書謂得之京江相公曾孫張冠伯

家。有抄本數十頁。皆載唐宮淫褻事。絕不類世所傳武后外傳云々。

21128 肉蒲團二十回 4冊 有圖

此書久無善本，海內每以活字本相矜，尚不能確指其時代。余所見活字本為六卷本，每半頁十一行，每行二十一字，有癸酉夏五如居士序。第一回回目為情痴反正道人編次，情死還魂社友批評十六字。此尚是元明人傳奇開場楔子，第一回不入正伝格式，與今本不同。第十六回引老門生三世報恩事，出今古奇觀。原文稱正統年間云々。知作者必在正統以後。又第一回所引本草綱目，係萬曆二十四年進呈，三十一年初刻。又知作者亦必在萬曆中葉以後，或天崇之間。此活字本，即有癸酉年號。明正統後之癸酉，為景泰四年、正德八年、萬曆元年、崇禎六年。景泰、正德、萬曆均在成書以前，似以崇禎癸酉為合理。又封面標出情痴道人編次字樣，不書朝代。蓋以明代自居。十二回唐玄宗之玄字不避諱，故可定為明崇禎活字本。

日本有寶永乙酉寫刻四卷本，每半頁十行，每行二十一字。行間旁注日本仮名讀法。寶永乙酉，當我康熙四十四年，距今二百三十八年。板本精雅，但多刪節。即如每回開場詩詞，只留第一、第六、第十一、第十六，四回四首，列為每卷首回，餘皆刪去。又每回後之評語，亦或有或無。又文字中間，往往節去若干字。細審之，却似非全無意識者所為。但與明活字本相較，嚴整多矣。即如第二十回，較活字本多至二百餘字。語意充暢，其他亦多類此。或所拋之本，較為精審，亦未可知。至分卷數目不同。第一回回目不同。封面情痴道人編次之上加一明字，暨全部不列批評人名姓，皆足証活字本之在前，有青勝於藍之美。且知中日兩本，不能成一系統。本書先就坊間縮印小本放大鈔寫，與明活字及日本刻本參互勘校，成此足本，仍以五回為一卷。至一名覺後禪，則明活字本，即已有之。明活字本卷首，有孤峯禪師、未央生、春筒、鉄扇道人、玉香、如意、賽崑崙、權老實、艷芳、香

雲、瑞珠、瑞玉、花晨等十三人画像。每人一幅，或立或坐，不用背景，而以什物為之識別。如孤峯之皮布袋、香雲之扇、瑞珠之花名冊、花晨之酒牌等々。足見明人小說本來面目、別有画冊，則与隋唐（マ）艷史，金瓶梅等図，同一作風。背景分明，点染襯託，橫看側看，互相印証，於記事内容，表現深切，当摹印入冊，以助讀者之觀感。

121. 三山秘記（又名東枕秘） 日本・某 惜陰軒□□藏秘笈 5×23
cf. 文言
122. 天合良緣（過墟志感） 墅史逸叟著 咸豐七（1857）刊 8×20 1冊
cf. 文言
姚氏疑此滿□，非豫王多鐸，即英王阿濟格，然有謂係端重親王情洛者，不知何拠。此書甚少觀，其記民族压迫，至為警心。 曉鈴 1938.7.7
123. 輪廻醒世存卷三至十六十四卷 9×20 無図 14冊
124. 雲遊記四卷七十六回 諸暨覺雲軒 民国己巳（18,1929）刊 11×28
図4葉 1帙4冊
125. 上下古今談四卷二十回 吳敬恒 中華民國四年再版 文明書局 鉛印
12×32 無図 1帙4冊
126. 浪裏生舟四卷二十四則 雲霞子 新都鑫記書莊藏板 民国乙卯
（4,1915）重刊 8×21
127. 泉潮荔鏡奇逢二卷 □□藏板 道光丁未（27,1847）刊 9×16 図4
葉 2冊
128. 十美図 9×20 1冊 cf. 集成
129. 于飛經十卷 葉德輝著 鉛印 10×23 cf. 非小說
130. 法戒錄六卷 夢覺子 光緒辛卯（17,1891）刊 騰場明善堂 cf. 善書
131. 福海無辺殘卷一 9×23 1冊 cf. 善書
132. 南海記 觀我道人 湖広碧峯版存 同治戊辰（7,1868）刊 14×24
図2葉 2冊 cf. 非小說

133. 巴黎茶花女遺事一卷 林紓訳 清光緒二十七年辛丑玉情瑤怨館校刻本
16×28 1冊

134. 西諦書目 油印本 1964年12月北京図書館據西諦藏書原目複刊供内
部参攷 5冊

鄭振鐸同志生前所藏中外文圖書，已由他的愛人高君箴同志遵照他的遺志，全部獻給中華人民共和國文化部，轉送我館度藏。整理以後，早經供應閱覽，並於一九六三年編出分類目錄，由文物出版社出版。但該目係選錄性質，為了全面反映西諦藏書，又根據西諦藏書原編草目油印，供給有關方面參考。這個目錄是排架目錄性質，可以看出西諦藏書原貌。也可與我館所編分類目錄相互參照。茲特贈送一部，以供檢閱。此致。

敬礼 北京図書館 1965.2.15

此目係據先生排架目錄所複製者，而排印本則件摯科分，轉有条理矣。然排印本多所刪削，非先生藏書全豹也。此目亦有缺失，蓋編目者隆福寺書賈某，其人不文，著錄往々訛誤，至可笑之程度，參用之際，當有所抉別也。余整理西諦古籍題跋時，曾持所記閱讀之記錄，與此目校一過，畧作補綴，而未暇一一是正也。 曉鈴（1966.3.28，皆在病中）

cf. 編例要旨

① 17224部 94441冊。

② 根據鄭先生生前所編草目付印。

③ 按照原目所列，仍缺45種。45種中27種解放後出版的新書，
15種普通舊書，3種係善本古籍，均在各該書下注明原缺字樣。

④ 部分藏書鄭家留用，記“留用”注明。

刪除の原則

① 二部以上同じものがある場合は一部のみ著録（版本が同じの意味かは不明）。

② 黄色小説は著録しない。ex. 金瓶梅、宜春香質、弁而釵 etc.

③政治思想に問題があるものは著録しない。ex. 蕩寇志 etc.

なおこの目録は複数の時期に四部分類されたものらしく、小説類も複数のグループに分かれている。